

## ライフケア中津「コロナ禍において、 ライフではどのように対応してきたか」

山本 徹<sup>1</sup> 山本綾子<sup>2</sup>

ライフケア中津 施設長<sup>1</sup> 看護長<sup>2</sup>

2021年6月には職員、ご利用者への2回目ワクチン接種を概ね済ませ、面会制限や基本的な感染対策を実施。2021年12月ご利用者33名、職員16名が陽性となるクラスター発生。感染源や経路は不明。中津病院が迅速に応援体制を強いて頂き、乗り切ることができた<sup>1)</sup>。このクラスター発生からご利用者側、職員側の問題点と対策を各職種で考え、発生時に備えた。ご利用者に対しては、マスク着用の推進、声を発しないレクリエーションの工夫、食堂内の環境調整（CO2濃度測定と換気、アクリル板の設置）、職員については、手指消毒の徹底、休憩場所の確保、黙食の徹底。発生時に備えて、サマリーやADL情報板の更新、コロナ用備品を確保し、今後、施設で陽性者をケアできる体制を考え、ゾーニングやガウンテクニックのシミュレーションを行った。2022年2月ご利用者1名が発熱し、他4名陽性となったが、職員は陰性で経過。施設内点滴を実施、

ゾーニングを行いその後感染拡大せず対応できた。

現在も面会制限が続いており、ご家族に安心して頂くためにリモート面会やご利用者の写真と担当職員から施設生活の様子をお伝えするメッセージを添えて、2021年6月から毎月郵送している。職員起因の感染を早期発見し対応できるよう、行政勸奨による2021年2月から職員の2週間毎の唾液によるPCR検査、更に、2022年5月からは希望者に週2回の抗原キットによる検査を実施している。引き続き、ご利用者のワクチン接種の実施と接種状況を管理し、感染対策の周知と発熱者のアセスメントを行い、初期行動が遅れないようにしていきたい。

### 参考文献

- 1) 山本 徹. 当老健施設のCovid-19クラスター大規模発生. 対応と老健の課題. 大阪府済生会中津病院年報 2020; 31: 249-53.

